

教育センターだより

令和4年6月 第134号



「ICTを活用した授業、なかなか取り組めない方へ」

ICTを活用した授業が日常的に行われるようになってきました。一方でそれを苦手とする方々がおられることも承知しています。

既にICTを積極的に活用して授業をしている皆さんは、ぜひ今後も校内でのICT活用推進、情報共有をお願いします。以下はお読みいただかなくて結構です。

ICTを活用した授業への取組に抵抗感がある方にお伝えします。

「ICTを効果的に活用した授業」という言葉をよく聞きますが、いったん「効果的」という言葉は忘れ、「子どもたちがChromebookに触れる」という点を意識してみてください。まずは「代替」をキーワードとして、普段行っている授業のうち、「問題提示」と「振り返り」をICTに置き換えてみませんか。



例えば、「課題・問題の提示」においてデジタルで一斉配布する

問題用紙を印刷したり、大判印刷して黒板に貼ったりする代わりにデジタルで配付してみてください。

また、「授業の振り返り」をデジタルで行うところから、スプレッドシート(Googleの表計算アプリ)に一人一人の考えを書き込む活動(模造紙のようなイメージで、一つのファイルに同時に学級全員の児童生徒が書き込むことができます)また、カードに振り返りを入力して提出する など。

これらの活動は Google Classroom,ロイロノート、ミライシード などを使ってすぐにできます。

このような取組を繰り返すして操作に慣れると

「少しずつ問題提示して児童生徒の興味を喚起する」

「提示した問題シートに児童生徒が直接入力する」(ICTを活用した指導者の省力化)

「複数の考えを提示して、それに対する各自のコメントを入力する」(対話的な学び)

「全員の考えを並べて弁別する活動を取り入れる」(対話的な学び)

といった、さらにICTを活用した授業につながります。

※夏季研修にてICT支援員による少人数研修を多数実施する予定です。

ぜひご活用ください。(詳細は後日お知らせします)

最後までお読みくださりありがとうございました。